

春日部市社会福祉協議会
局長 片岡 正夫 様

放課後児童クラブおやつ代の集金および運用に関する アンケート調査結果と要望について

平成22年2月23日
春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会
代表 上野 幸子（粕壁放課後児童クラブ）

拝啓

貴職におかれましては益々ご活躍のことと存じ上げます。また、春日部市の放課後児童クラブ運営にあたりましては日頃よりご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年4月以降のおやつ代の集金に関し、全クラブ一律に1500円を銀行引き落としにより徴収する旨、通知がありました。しかし私たちは、一方的に引き落としへの変更の通知をいただいただけであり、おやつ代の運用方法詳細について、具体的な説明を受けておりません。

私たちは、全てのクラブの父母会が、今回の変更に対しどの様に思っているのか、その実情を知るためにアンケートを実施いたしました。その結果、別紙に記載の通り、おやつ代の運用方法、特に指定店での伝票購入制限、現金購入の制限については、かなりのクラブが反対の意向を示している事が判りました。

おやつは、学童生活の中でも極めて重要な要素です。季節や天候などに応じて指導員が工夫を凝らして準備することにより、子どもたちは楽しい特別な時間を共有します。美味しいおやつを食べながら仲間と過ごす時間は、子どもたちの笑顔の原点です。そうしたかけがえのない時間を、これから子どもたちに与えていきたいと願っています。

11月28日の対市交渉で、市は「今までと何ら変わりなく、指導員が自由に購入できるようなシステムを社協が考えてくれるので大丈夫です」と回答しています。私たちはこの言葉を信じていました。しかし、引き落としへの変更が行なわれようとしているこの時期になって、現実とは全く違うということを知り、愕然としています。

父母の希望に沿わない改変を、何の説明も無く強硬に実施することには納得できません。どうか私たちの希望をご勘案いただき、真に子どもたちの事を考えたシステム作りを再検討していただきますよう、心よりお願いいたします。

敬具